

## MIRAI モデリスタ バージョン

## フロントスポイラー 取付要領書

品番:D2531-64710 MSD41-62001/MSD41-62002

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

本書は、フロントスポイラーの取付要領について記載してあります。

**取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なってください。**

■最新の適合情報はモデリスタホームページをご覧ください。

<https://www.modellista.co.jp>

## 取り付け上の注意事項

- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様に配慮してください。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なってください。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意してください。
- 商品の仮合わせ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施してください。
- 本製品の取り付けは、2名で作業を行なってください。
- エンドモール（両面テープ付き）・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂してください。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- フロントスポイラーを取り付ける部品の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取ってください。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗ってください。  
(PACプライマーN-200を本品に添付)

**重要** プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。

**重要** ■両面テープは、外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なってください。

■両面テープのプライマーは、溶剤が揮発する為、速やかに作業を終了してください。

■両面テープのプライマーは、特に塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。

**重要** ■両面テープの圧着を十分に行ってください。49N (5kgf) 以上

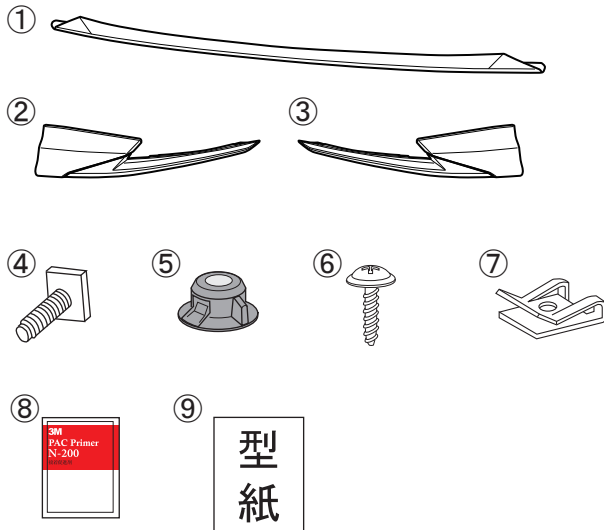
## 取り付け完了後の点検・注意事項

- フロントスポイラーが、車両に確実に貼り付けられているか点検してください。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検してください。
- 取り付け完了後、フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検してください。
- 取り付け完了後、最低24時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意してください。  
(両面テープの剥がれ、車両とフロントスポイラーとの間に隙間が発生するおそれがあります。)



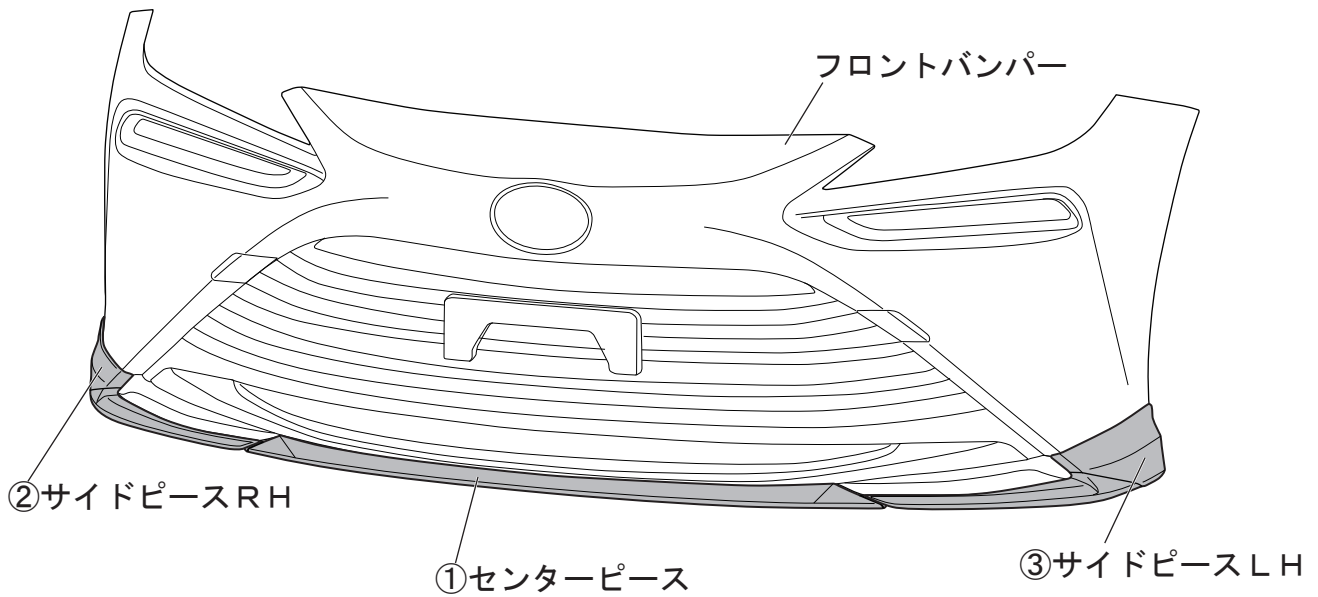
アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品



No.	品名	個数
①	センターピース	1
②	サイドピースRH	1
③	サイドピースLH	1
④	スクエアヘッドボルト	2
⑤	クリップナット	2
⑥	タッピングビスA	11
⑦	スピードナット	11
⑧	PACプライマーN-200	1
⑨	型紙	1

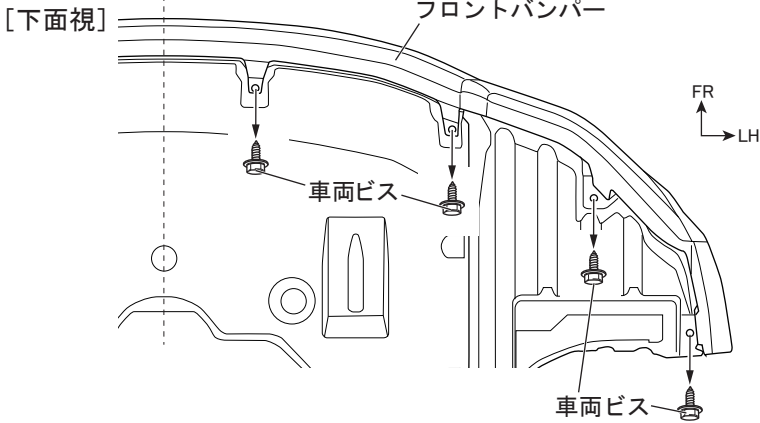
取付概要



# 取付手順

## I. 取付準備

LH図示 ※RHも同様に

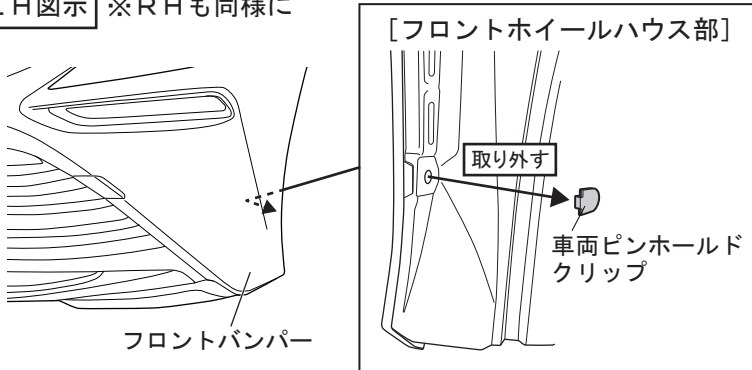


1. フロントバンパー下面の左図位置の車両ビスを取り外す。(左右各4ヶ所)

### アドバイス

・取り外した車両ビスは再利用するため、紛失や破損のないよう保管してください。

LH図示 ※RHも同様に

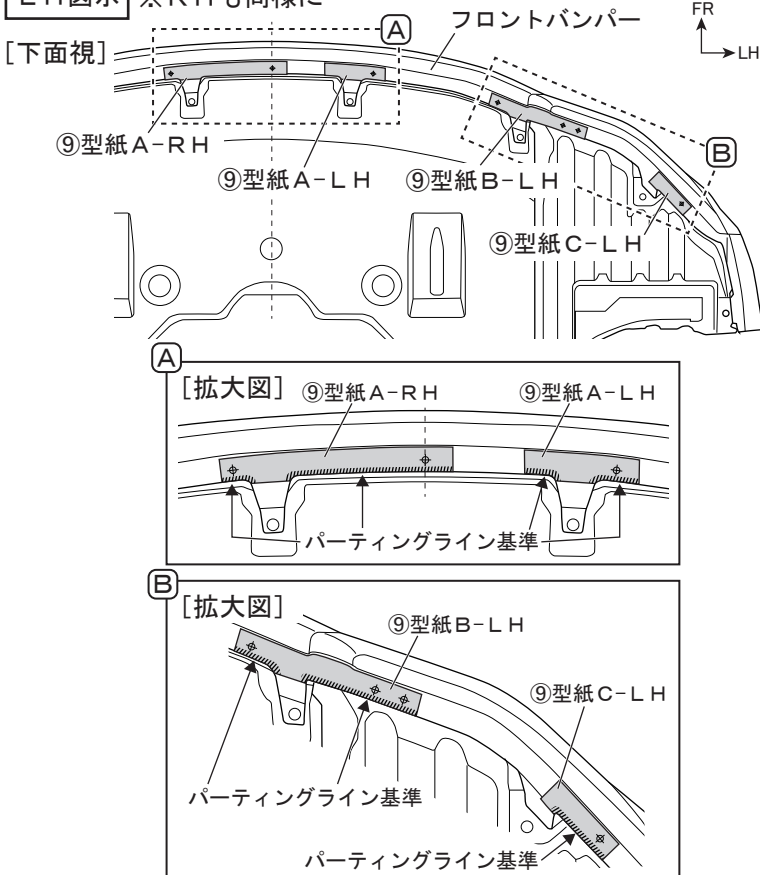


2. フロントバンパーホイールハウス部の車両ピンホルドクリップを取り外す。(左右各1ヶ所)

### アドバイス

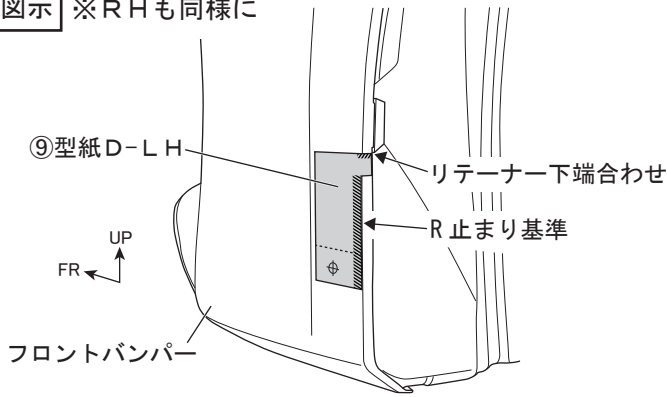
・取り外した車両ピンホルドクリップは再利用するため、紛失や破損のないよう保管してください。

LH図示 ※RHも同様に



3. フロントバンパー下面の左図位置に⑨型紙 A、B、Cを貼り付ける。(左右各3ヶ所)

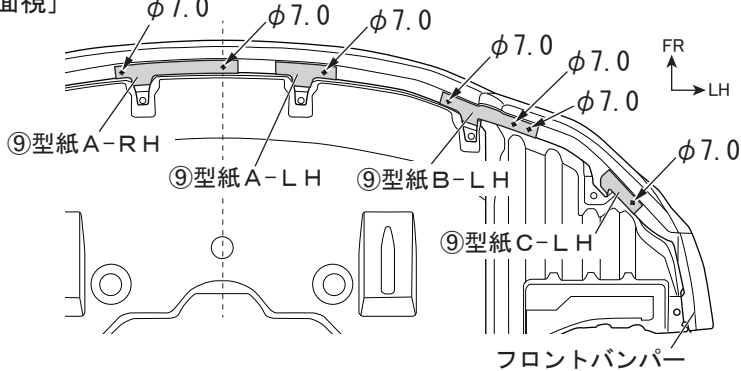
LH図示 ※RHも同様に



4. フロントバンパー側面の左図位置に⑨型紙Dを貼り付ける。(左右各1ヶ所)

LH図示 ※RHも同様に

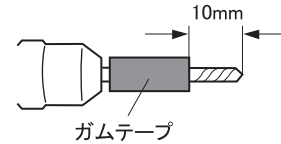
[下面視]



5. フロントバンパー下面の⑨型紙A、B、Cの穴あけ位置に合わせてドリルで穴を11ヶ所あける。(ドリル  $\phi 3.0 \rightarrow \phi 7.0$ )

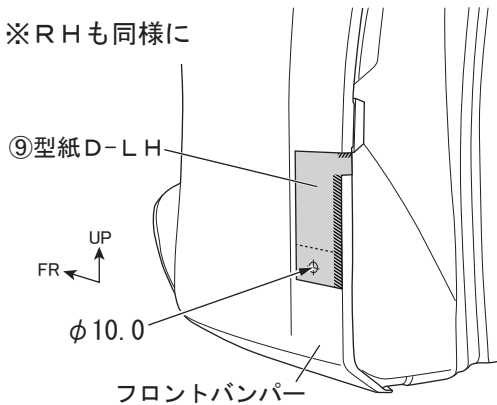
アドバイス

・穴あけ作業の際は、ドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。



6. ⑨型紙A、B、Cを剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。(11ヶ所)

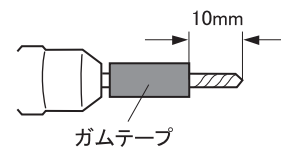
LH図示 ※RHも同様に



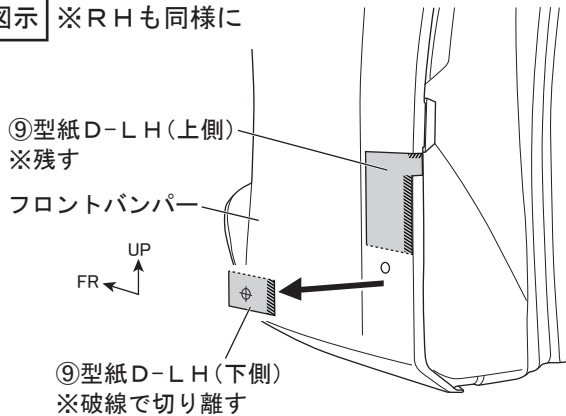
7. フロントバンパー側面の⑨型紙Dの穴あけ位置に合わせてドリルで穴を1ヶ所あける。(ドリル  $\phi 3.0 \rightarrow \phi 7.0 \rightarrow \phi 10.0$ )

アドバイス

・穴あけ作業の際は、ドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。



LH図示 ※RHも同様に

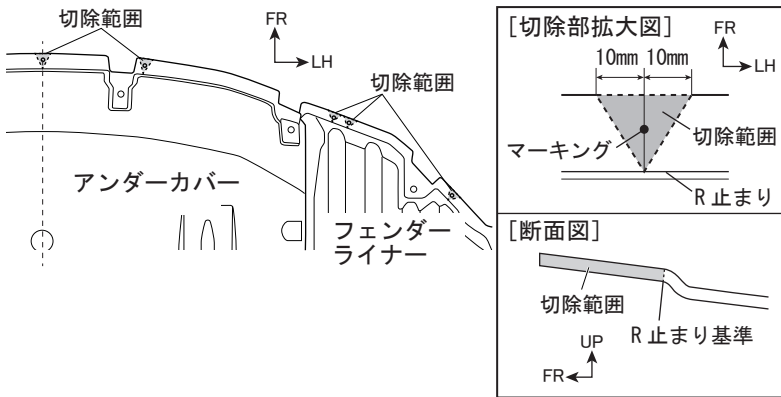
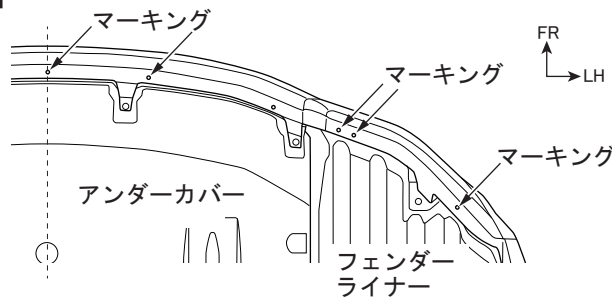


8. ⑨型紙Dのフロントスポイラー取り付け高さ位置(モール端末高さ)を残し破線に沿って下側を剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。(左右各1ヶ所)

LH図示

※RHも同様に

[下面視]



9. アンダーカバーとフェンダーライナーの穴位置にマーキングし、先端部をめくり出して切除加工する。(9ヶ所)  
 切除後、加工部周囲のバリを除去し、復元する。

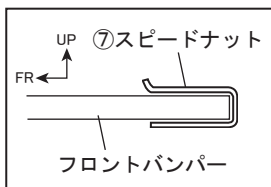
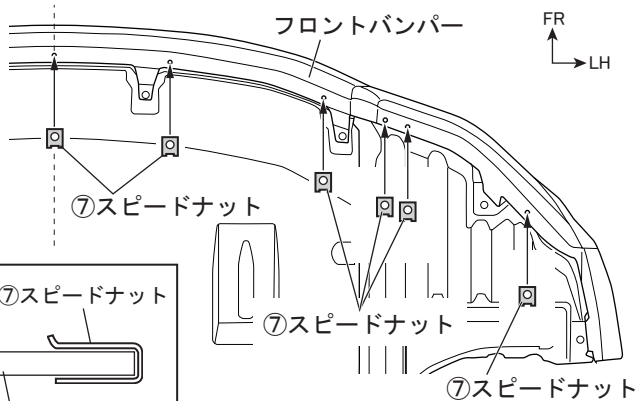
アドバイス

- ①センターピース、②③サイドピースの下面締結ビス先端の干渉を逃がすための加工です。

LH図示

※RHも同様に

[下面視]



10. フロントバンパー下面のφ7.0穴に合わせて⑦スピードナットを取り付ける。(11ヶ所)

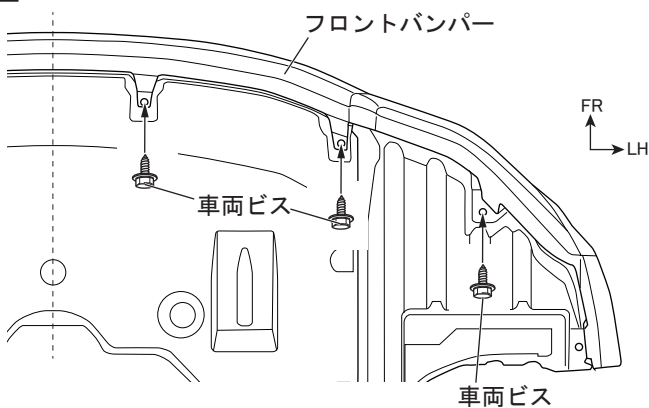
アドバイス

- ⑦スピードナットが動く場合はプライヤー等で軽く締め付けてから差し込んでください。

LH図示

※RHも同様に

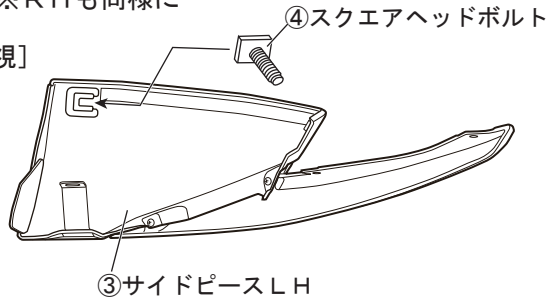
[下面視]



11. フロントバンパー下面の左図位置の車両ビスを取り付ける。(左右各3ヶ所)

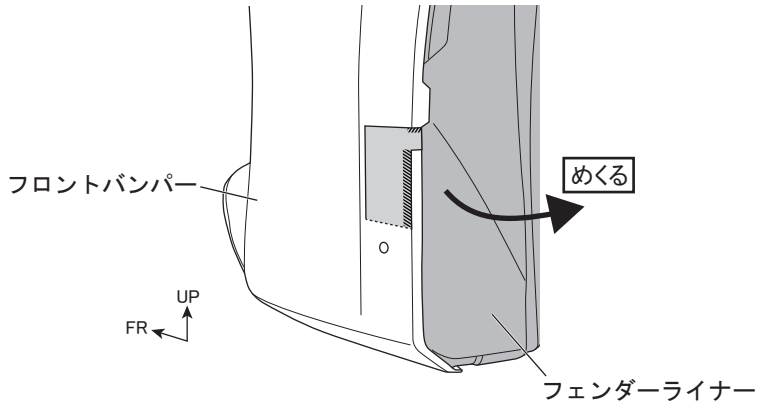
LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]



12. ②③サイドピースに④スクエアヘッドボルトを取り付ける。(左右各1ヶ所)

LH図示 ※RHも同様に



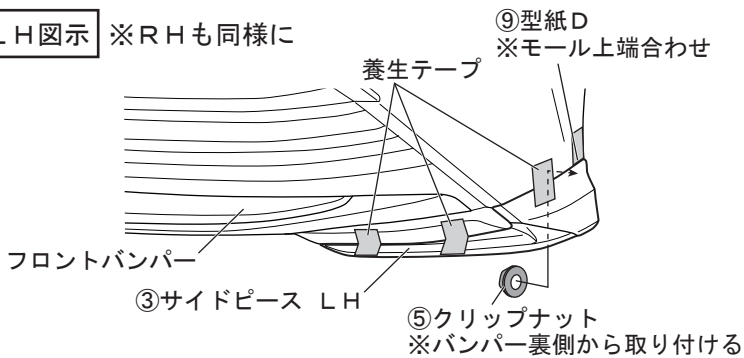
13. フェンダーライナーをめくる。

※⑤クリップナットの固定の際にフロントバンパー側面裏側にアクセスできるように、めくってください。

アドバイス

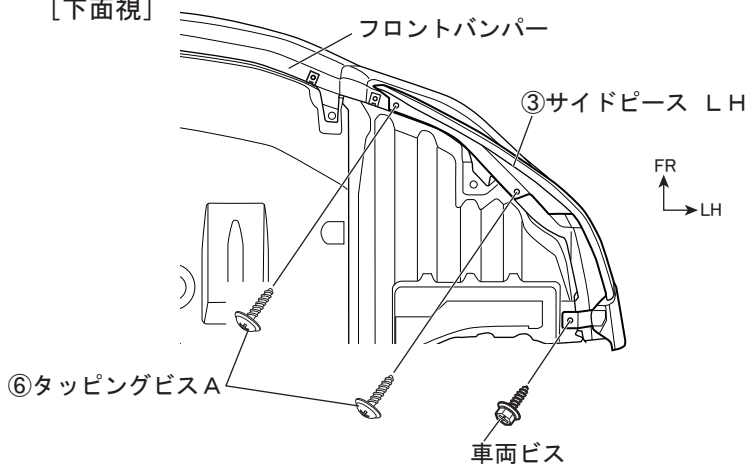
・フロントバンパー側面裏側にアクセスする為の作業です。

LH図示 ※RHも同様に

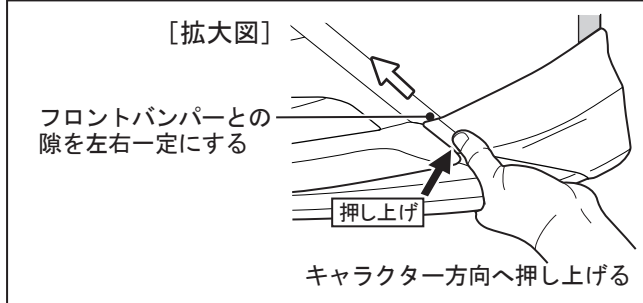
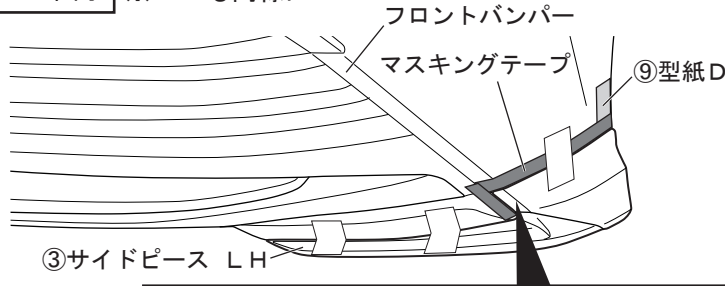


14. フロントバンパー側面の⑨型紙Dに合わせて②③サイドピースを車両に仮当てし、下面を車両ビス(左右各1ヶ所)、⑥タッピングビスA(左右各2ヶ所)、側面を⑤クリップナット(左右各1ヶ所)で仮締めし、取り付け位置を確認して養生テープ等で仮固定する。

[下面視]



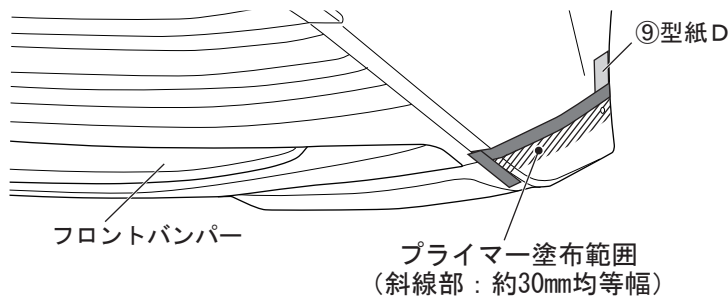
LH図示 ※RHも同様に



15. 左図を参照し、②③サイドピースのモール上端に合わせてマスキングテープを貼り付ける。

16. ②③サイドピースを取り外す。

LH図示 ※RHも同様に



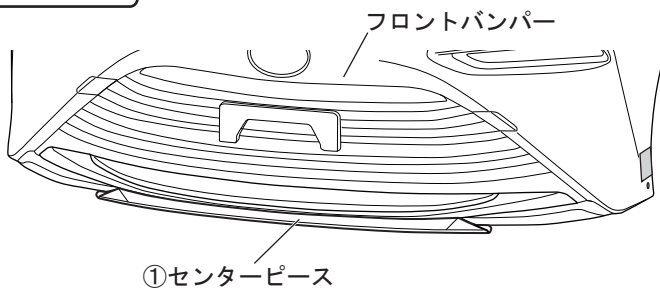
17. フロントバンパーの左図斜線部を脱脂し、  
⑧PACプライマーN-200を塗布する。

**アドバイス**

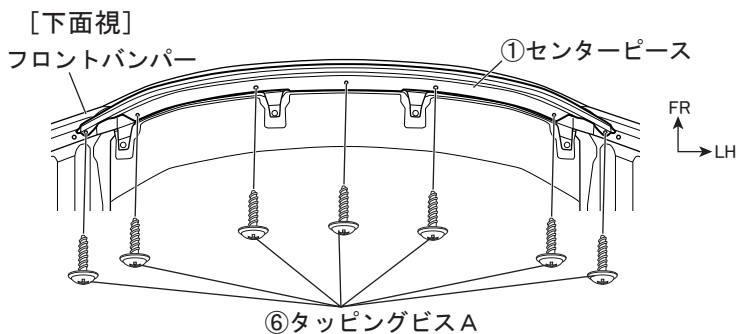
- PACプライマーN-200は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- PACプライマーN-200塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去してください。

18. マスキングテープを剥がす。  
※⑨型紙Dは剥がさないでください。

**II. 取付け**

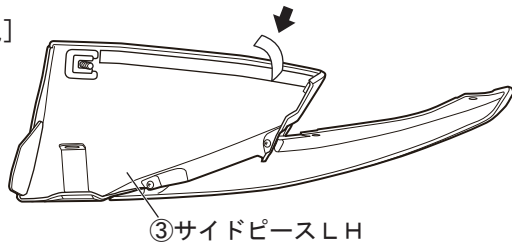


1. ①センターピースを車両に仮当てし、下面を  
⑥タッピングビスA (7ヶ所) で仮締めする。

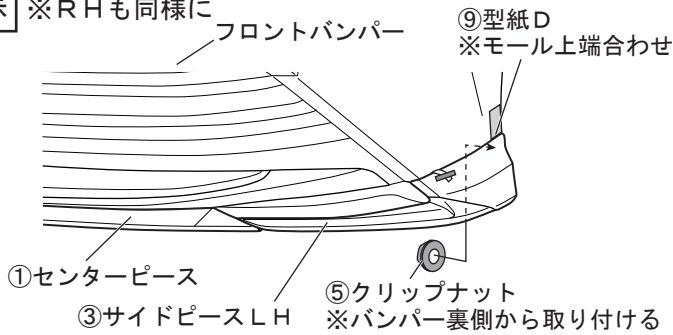


LH図示 ※RHも同様に

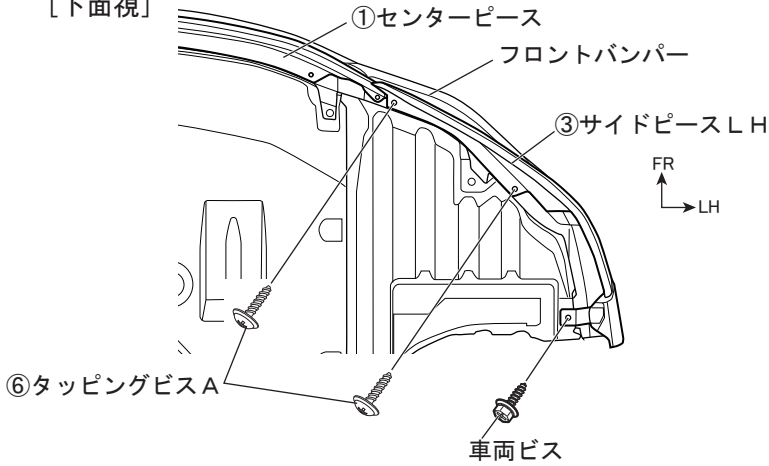
[裏面視]



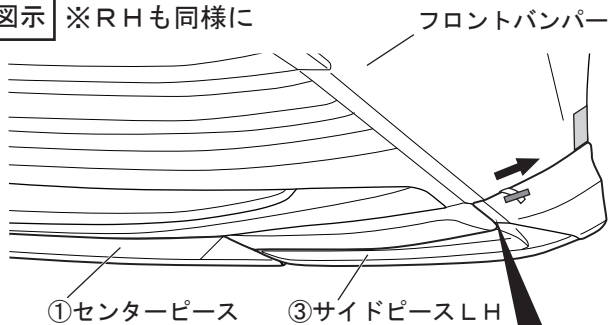
LH図示 ※RHも同様に



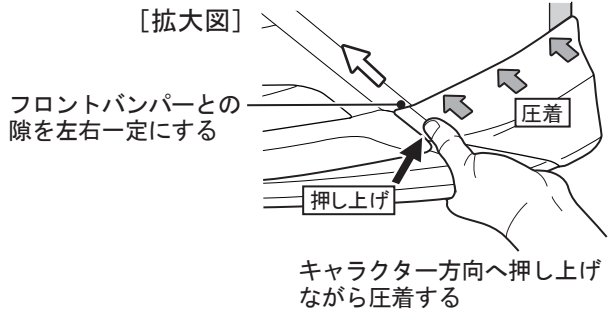
[下面視]



LH図示 ※RHも同様に



[拡大図]



2. ②③サイドピースの離型紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。(左右各1ヶ所 左図矢印部)

3. フロントバンパー側面の⑨型紙Dに合わせて②③サイドピースを車両に仮当てし、下面を車両ビス(左右各1ヶ所)、⑥タッピングビスA(左右各2ヶ所)、側面を⑤クリップナット(左右各1ヶ所)で仮締めする。

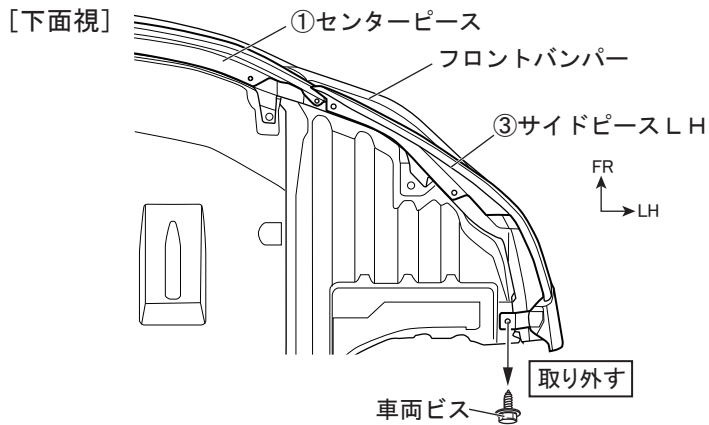
4. 両面テープの離型紙を左図矢印の方向に引き抜きながら圧着する。

#### アドバイス

- ・ 離型紙が途中で切れない様に②③サイドピースを少し浮かせながら離型紙を引抜いてください。
- ・ 両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

5. ②③サイドピースの浮き、剥がれが無いことを確認し、両面テープの貼り付け部を再圧着する。

LH図示 ※RHも同様に



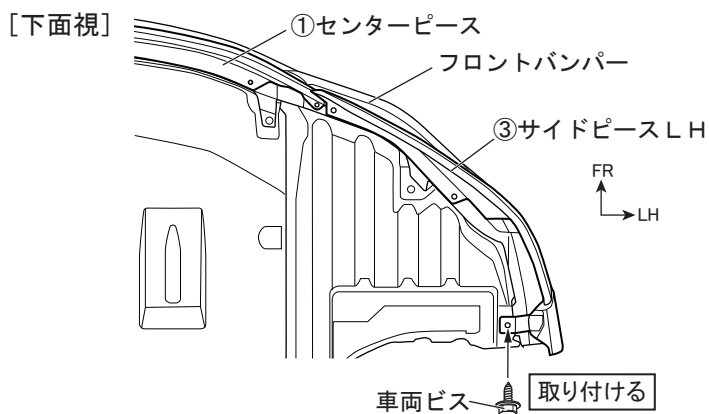
6. ②③サイドピース下面左図位置の車両ビスを取り外す。(左右各1ヶ所)

アドバイス

・取り外した車両ビスは再利用するため、紛失や破損のないよう保管してください。

7. 仮締めしていた②③サイドピース側面の⑤クリップナット(左右各1ヶ所)を本締めする。

LH図示 ※RHも同様に

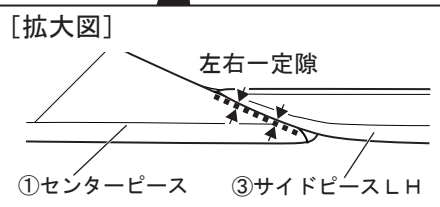
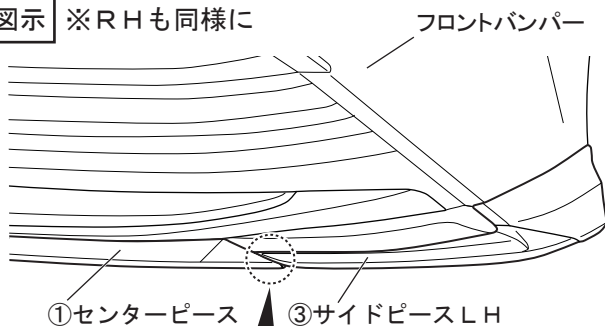


8. 仮締めしていた②③サイドピースの下面の⑥タッピングビスAを本締めし(左右各2ヶ所)、下面左右の車両ビスを取り付けて本締めする。(左右各1ヶ所)

9. フロントバンパー側面の⑨型紙Dを剥がし(左右各1カ所)、フェンダーライナーおよびホイールハウス部の車両ピンホールドクリップ(左右各1ヶ所)を復元する。

10. ①センターピースと②③サイドピースの隙間を左右一定にする。

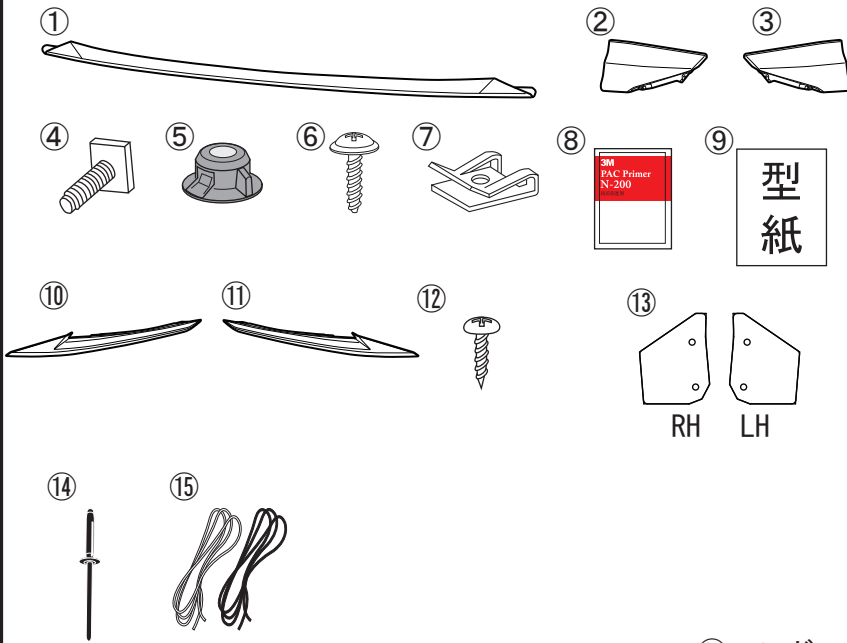
LH図示 ※RHも同様に



11. 仮締めしていた①センターピースの⑥タッピングビスA(7ヶ所)をすべて本締めし、取り付け作業完了。

## フロントスポイラー素地品の塗装手順

### 構成部品



No.	品名	個数
①	センターピース	1
②	サイドピースRH	1
③	サイドピースLH	1
④	スクエアヘッドボルト	2
⑤	クリップナット	2
⑥	タッピングビスA	11
⑦	スピードナット	11
⑧	PACプライマーN-200	1
⑨	型紙	1
⑩	メッキパーツRH	1
⑪	メッキパーツLH	1
⑫	タッピングビスB	4
⑬	プレート (RH/LH)	各1
⑭	リベット	4
⑮	エンドモール	グレー:1 ブラック:1

### ⑮エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
090	プレシャスホワイトパール	グレー
202	ブラック	ブラック
219	プレシャスブラックパール	ブラック
1J6	プレシャスシルバー	グレー
1L5	プレシャスメタル	ブラック
8S6	ダークブルーマイカ	ブラック
3U5	エモーショナルレッドⅡ	ブラック
8Y7	フォースブルーマルチプルレイヤーズ	ブラック

### フロントスポイラーの塗装

- ・本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。
- ・乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
- ・両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応してください。

#### ※①センターピース、②③サイドピースをボディ色で塗装する。

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、埃をウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行う。
2. 製品に取り付けてある両面テープの全面、クッションをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。(本製品の素材は>PPE<です)
4. 上塗り塗装を行う。
5. 硬化

注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用ください。

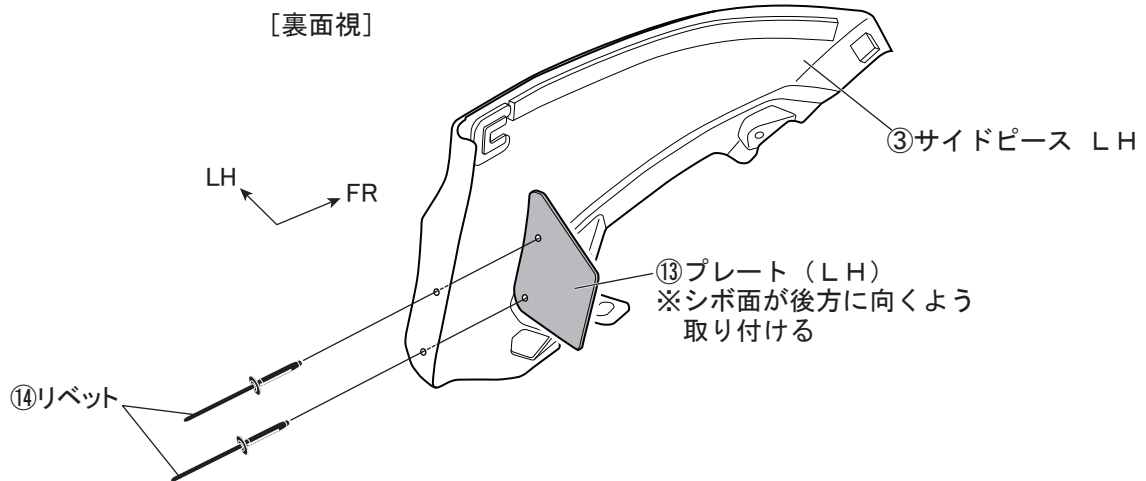
塗装乾燥温度は成形樹脂の物性上、必ず70℃以下で乾燥させてください。

変形しない様、形状を保持して乾燥してください。

## プレートの取り付け作業

1. ②③サイドピースに⑬プレートを⑭リベットで取り付ける。

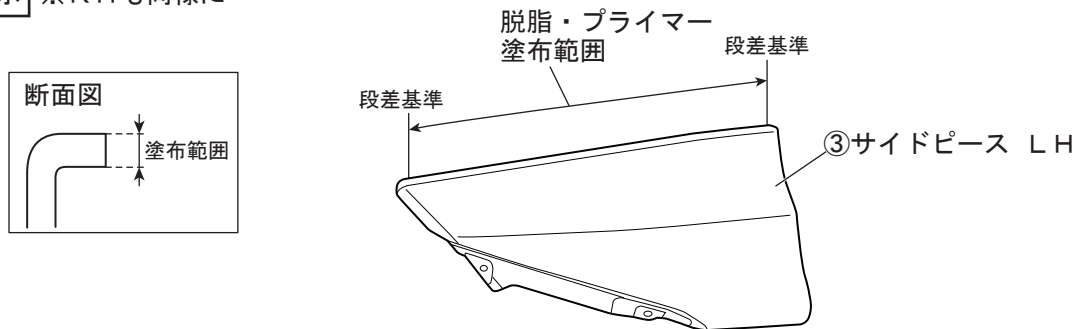
LH図示 ※RHも同様に



## プライマーの塗布

1. ②③サイドピースの⑮エンドモール貼付け部分を脱脂し、⑧PACプライマーN-200を塗布する。

LH図示 ※RHも同様に



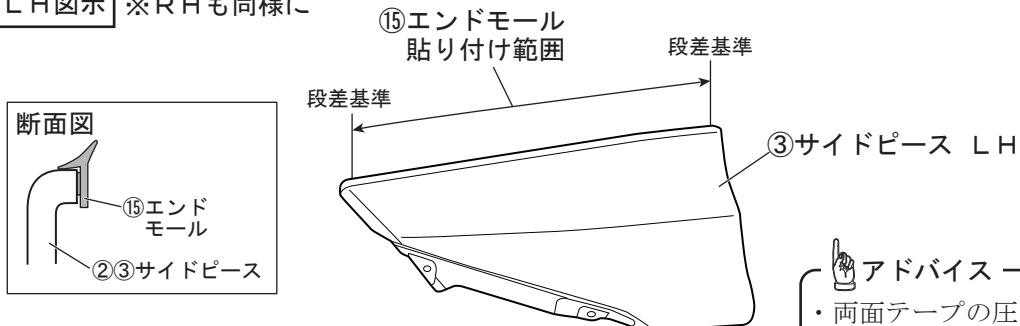
### アドバイス

- ・ PACプライマーN-200は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- ・ PACプライマーN-200塗布後は、常温で10分間以上放置し、乾燥させてください。
- ・ PACプライマーN-200はフロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

## エンドモールの貼り付け作業

1. 下図の要領で⑮エンドモールを貼り付ける。

LH図示 ※RHも同様に



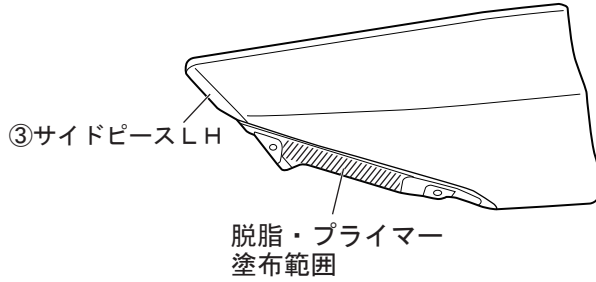
### アドバイス

- ・ 両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

## メッキパーツの取り付け作業

1. ②③サイドピースの左図斜線部を脱脂し、⑧PACプライマーN-200を塗布する。

LH図示 ※RHも同様に



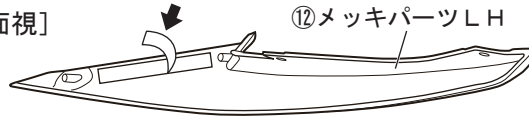
### アドバイス

- ・PACプライマーN-200は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- ・PACプライマーN-200塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ・PACプライマーN-200はフロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

2. ⑩⑪メッキパーツ裏面の離型紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。(左右各1ヶ所 左図矢印部)

LH図示 ※RHも同様に

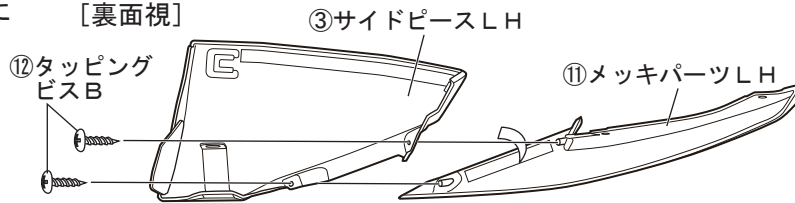
[裏面視]



3. ⑩⑪メッキパーツを②③サイドピースに仮当てし、裏側から⑫タッピングビスBで仮締めする。(左右各2ヶ所)

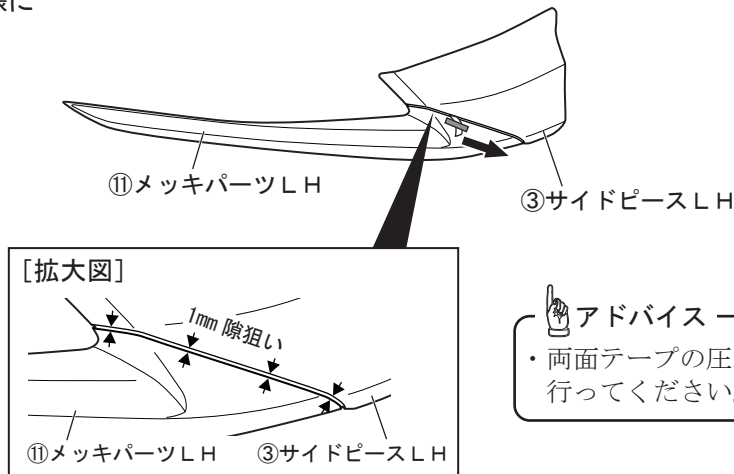
LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]



4. 取付位置および各部の隙を確認して両面テープの離型紙を下図矢印の方向に引き抜きながら圧着する。圧着後、⑫タッピングビスBを本締めする。(左右各2ヶ所)

LH図示 ※RHも同様に



### アドバイス

- ・両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

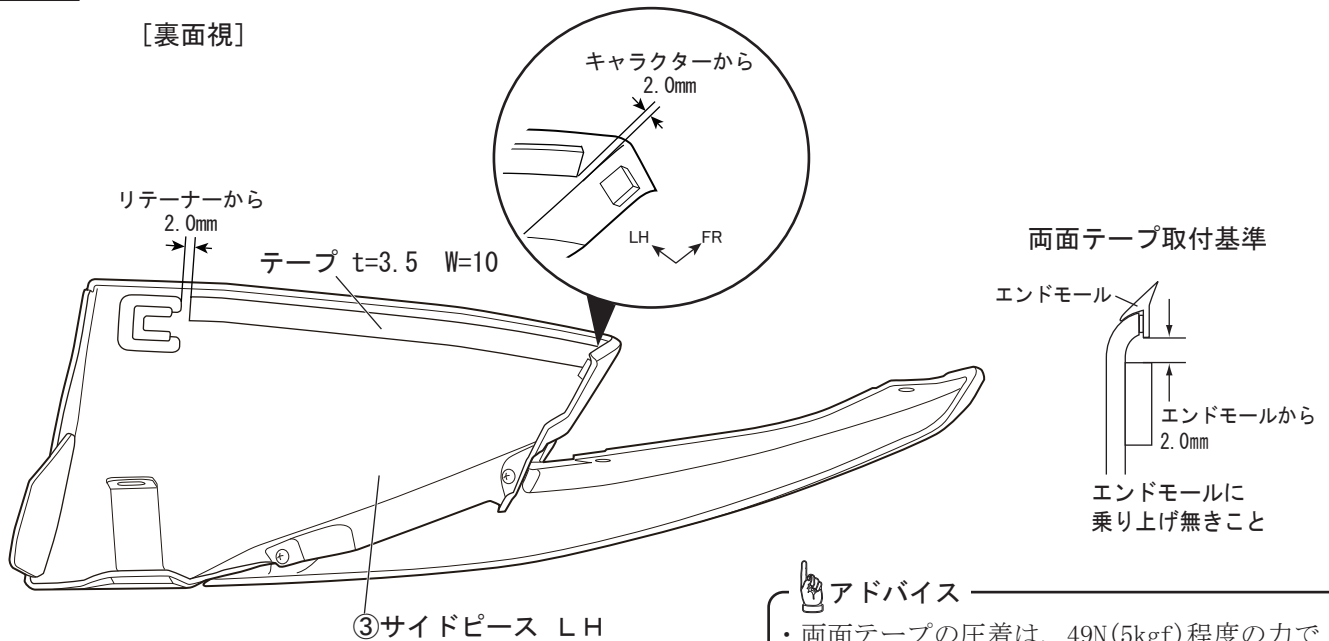
## 補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用して②③サイドピースの再取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。

※両面テープを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマー（PACプライマーK-500相当）を塗布する。

LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]



### アドバイス

- 両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

# 脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を  
解説動画でご覧いただけます。  
右のQRコードよりアクセスのうえ  
ご確認ください。

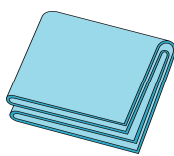


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
  - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
  - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

## ■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用  
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用  
ウエス



WET 用  
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)  
純度 70%程度を推奨  
※純度 100%はモールを痛めるため  
使用しないこと

## ■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。  
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠ 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

👉 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー  
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用  
燃料用として販売されている  
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。  
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。  
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

## ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

### ■ 脱脂作業前に

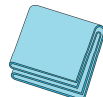
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。  
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。  
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

### ■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



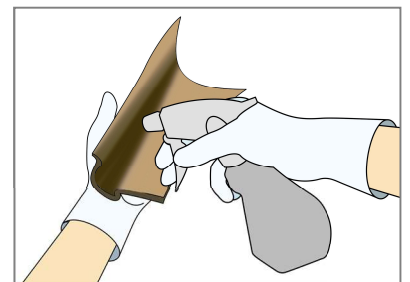
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

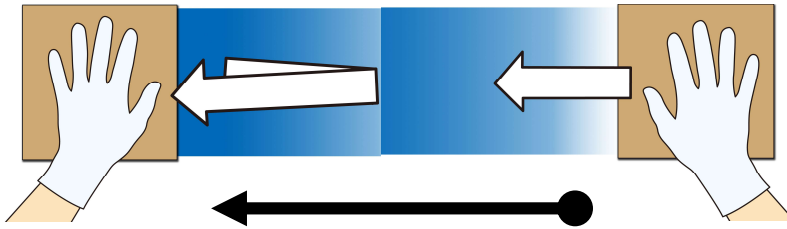
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで  
1往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に  
拭き上げ油脂分を取り除く



1ブロック60cm程度として両手にWETとDRYのウエスを交互に持ち  
WET⇒DRYの順に拭き上げて脱脂する。

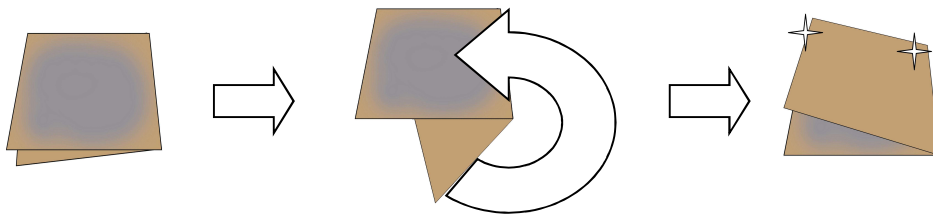
範囲が広い場合は1ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に3~5ブロック毎にウエス表面を折り返し  
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。  
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。  
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。